

デジタル田園都市国家構想交付金の事業採択 ～デジタル実装タイプ(Type1)の4事業～

本市では、「デジタル田園都市国家構想推進交付金(デジタル実装タイプ(Type1))」の事業として、下記の4事業が令和5年3月10日に採択されました。本交付金は、デジタルを活用した地域課題解決や魅力向上の実現に向け、他の地域ですでに確立されている優良モデルを活用して、その実装の取組を行う地方自治体に対し、事業の立ち上げに必要な支援を行うものです。

本採択を受け、この4事業を令和5年度事業として実施することになり、防災、契約、市役所窓口、観光DX等で市民の皆様の利便性を向上するとともに、「スマートシティやつしろ」の実現を推進してまいります。

採択事業

(1)スマート避難所システム構築事業

【概要】「QRコード」等のデジタルの力を活用し、避難者への必要な情報提供と、多様な申し込みをオンラインで行うなど、避難者と行政の双方にとって利便性の高い避難所運営体制を構築する。

事業費：3,300万円 採択額：1,650万円

(2)八代市入札契約関連事務システム導入事業

【概要】入札参加資格審査申請における電子化および入札・契約案件の一元管理を行う契約管理システムを一体的に導入することで、事業者の申請に係る負担軽減並びに入札・契約事務の効率化を図る。

事業費：704万円 採択額：352万円

(3)市役所窓口における手数料等のキャッシュレス化推進事業

【概要】市役所本庁及び支所の計3か所の窓口において、行政サービスに係る手数料等の支払いについて、クレジットカード・電子マネー・QRコードなどの様々なキャッシュレス決済が利用できる端末を導入し、市民の利便性向上を図るとともに現金の受け渡しを減らすことによる感染症の防止に努める。

事業費：189万4千円 採択額：94万7千円

(4)観光プロモーション充実・強化及びデータマーケティング利活用事業

【概要】現在、複数ある観光情報サイトを統合し、情報の集約を図るとともに、LINE公式アカウント「やつしろ観光dガイド」との連携及び機能拡充により、観光客に対する新たなプロモーションの手法を確立するもの。また、収集したデータを基に効果検証を行い、観光客の周遊促進・消費促進・関係人口化を目指す。

事業費：2,240万2千円 採択額：1,120万1千円

問合せ 企画政策課 担当:岩田・土田
TEL 0965-33-4104



デジタル田園都市国家構想交付金 (デジタル実装タイプ)の事業採択

全国で994団体、1,847件の事業が採択

八代市の採択事業

スマート避難所システム構築事業	事業費3,300万円	採択額1,650万円
八代市入札契約関連事務システム導入事業	事業費704万円	採択額352万円
市役所窓口における手数料等のキャッシュレス化推進事業	事業費189万4千円	採択額94万7千円
観光プロモーション充実・強化及びデータマーケティング利活用事業	事業費2,240万2千円	採択額1,120万1千円

①スマート避難所システム構築事業

円滑な避難所運営を目的とした「スマート避難所」構築事業

デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)

課題

- 令和2年7月豪雨及び台風10号等の自然災害発生時においては、多くの市民が避難所に退避。
- 避難所における入退出受付は紙で行っており、避難者が多数の場合はその対応に多くの時間を要する。
- 中・長期にわたる避難所生活では必要な支援物資の把握や数の調整など運営の業務負担が増加。

対応策

- 避難者の入退出受付をQRコード等の活用により管理業務の効率化を図るとともに、健康確認、食事、支援物資の管理をオンライン化することで、避難者によるニーズ等に迅速に応える仕組みを構築。
- 各避難所の生活状況がリアルタイムで把握できるよう避難所と災対本部との情報共有をシステム化。

【事業概要及びイメージ図】

- ・ 既存の「八代市災害時支援システム」と連携し、各避難所の情報を管理する「スマート避難所システム」を構築。
- ・ QRコード等で入退出受付や支援物資情報等を管理するため、避難者・運営職員の双方ともに省力化が可能。

「避難者・行政」双方ともに手間が少ない「スマート避難所」システムの構築



②八代市入札契約関連事務システム導入事業

入札参加資格審査申請システム及び契約管理システムの導入

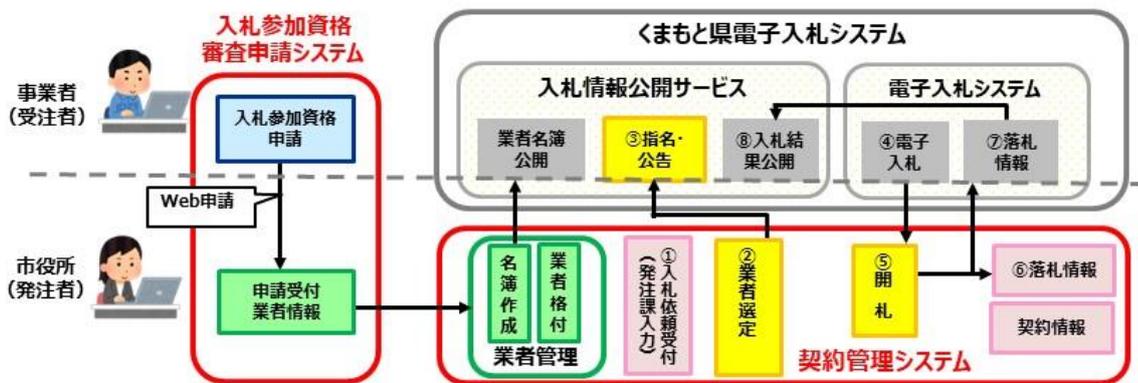
デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)

課題

- 事業者の入札参加資格審査申請は、紙面の申請書類を印刷・製本し郵送等の必要があり、申請作業に係る負担大。
- 事業者からの書類を郵送等で受付けた後、市役所における内容確認、書類不備等の資格審査業務に多くの時間を費やしている。
- 契約に関する確認項目の増加により、エクセルによるデータの入力に多くの時間を費やしており、作業効率が悪い。

対応策

- 入札参加資格審査申請システムを導入することで、紙面申請からWeb申請が可能となり、郵送費、印刷費用などの費用負担が軽減。また、いつでもどこでも申請可能となることで、窓口での手続きが不要となり利便性が向上。
- 審査業務においては、Web上で審査、承認が可能となるため、審査業務に係る時間が大幅に削減。
- 契約管理システムを導入することで、入札・契約事務の作業効率が上がるとともに電子入札システムとの連携により、指名通知・開札結果の取込時間が大幅に短縮。



③市役所窓口における手数料等のキャッシュレス化推進事業

デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)

課題

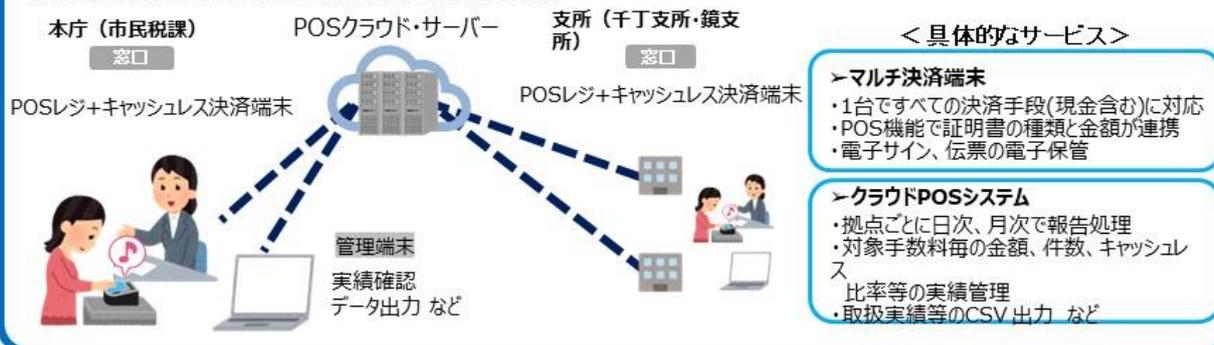
- 日常生活においてQRコード等のキャッシュレス決済が急速に広がる中、現在、市役所においては本庁の証明書発行窓口の一部のみの対応にとどまり、更なる利便性を向上を図ることが不可欠。
- 新型コロナウイルス感染リスク対策という側面からも、市役所窓口における接触機会の低減が必要。
- 窓口の現金の取扱いは管理・報告の事務の煩雑さや、防犯等の観点からも減らしていくことが望ましい。

対応策と効果

- 証明書発行を行う本庁市民税課や支所窓口にもマルチ決済端末を設置することで、現金だけでなく様々な決済方法で手数料等の支払いが可能となり、来庁者の利便性が向上。
- おつりの計算間違いなどのリスクや、現金の管理コストを減らし、スピーディなサービス提供が可能。
- クラウドPOSシステムの導入により、本庁・支所間の報告事務等を軽減。

【事業概要及びイメージ図】

現在、キャッシュレス決済を導入している市役所本庁舎の証明書発行窓口に加え、新たに市民税課、及び千丁支所・鏡支所の窓口において、行政サービスに係る手数料等の支払いについて、現金の他、クレジットカード・電子マネー・QRコードなどの様々なキャッシュレス決済を利用できるように、来庁者の利便性向上や職員の事務の軽減等を図る。



④ 観光プロモーション充実・強化及びデータマーケティング利活用事業

観光サイトの統合及び充実・強化

デジタル田園都市国家構想推進交付金(デジタル実装タイプ)

課題

- 八代の観光・物産に関するwebサイトやページが複数存在しており、観光情報が分散。
- 「やつしろ全国花火競技大会」や「八代妙見祭」においては、市外からも多く(合計約50万人)の観光客が訪れるものの、イベントを起点とした市内周遊や、物産販売まで結び付けられていない。
- 観光客の動向データの分析や、これらのデータを活かしたマーケティング戦略が図られていない。
- 観光客に対しては画一的な観光プロモーションのため、個別のニーズに対応しきれていない。

対応策

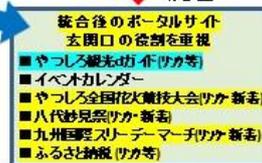
- 市やDMOの複数ある観光・物産関連サイトを統合するとともに、大型イベントごとのサイト情報を表示させ、八代市の最新の観光情報がまとめて表示される仕組みを構築。
- 「やつしろ観光dガイド」は、市担当者が簡単にコンテンツを追加、変更できるよう管理者用アプリを導入するとともに、トップページをリニューアル。
- さらに、観光客の動向データを分析した上で、デジタルスタンプラリーやイベントカレンダー機能を追加するほか、登録者と本市との関係深度をランク付けし、ランクに応じてインセンティブを提供する仕組みを構築。

【事業概要及びイメージ】



統合

【現状】イベントなど観光・物産関連のサイトやページが乱立し、情報が分散。
 【改善】統合後のサイトには、それぞれの新着情報を表示させるなど、八代市の最新の観光情報がまとめて表示される仕組みを構築。



連携

- 管理者アプリ「パスナビ」の開発
- トップページのリニューアル
- スタンプラリー機能開発
- イベントカレンダー機能開発
- CRM機能：ランク付け

やつしろ観光dガイド



イベント用特別メニュー公開
 デジタル会場マップ、LIVE中継など
 観光・物産情報を発信
 観光スポット・観光ルート、クーポン、ふるさと納税スタンプラリーなど

